

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位 (時間)	科目責任者
医療安全	3年次 前期	必修	講義	1単位 (30時間)	南雲 陽子 ※
授 業 概 要					
それぞれの専門科目で学習した危険知識を復習し、複雑的で専門的な危険回避のための判断と行動のトレーニングを行うことで、看護業務や看護技術における危険認識力と危険回避の判断力を養うことを目指す。					
到 達 目 標					
1. 危険につながる思考・行動を説明することができる 2. 現場で想定される複雑的で専門的なさまざまな危険を、業務や看護技術との関連で認識できる 3. 危険回避のための「してはならないこと」と「すべきこと」を実践できる 4. 間違いや不適切な行為が、対象にどれほどの重大な結果をもたらすのかを理解し表現できる 5. 医療安全トレーニングにより自ら“気づく”“考える”必要性に気づく					
実務経験のある教員					
南雲 陽子：看護師としての臨床経験と臨床工学技士の知見をふまえ、医療安全について概説する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-15	1. 医療安全を学ぶ意義、医療安全の基本的な考え方  2. 看護・医療事故を予防するための方法 1) 事故の構造 2) 事故防止の考え方  3. アクティブラーニングを活用した医療安全演習 ～複雑で専門的でより現場に近い場面の想定～ ～ヒューマンエラーやコミュニケーションエラー（職種間など）～ 1) 事例紹介 2) グループ学習、ディスカッション、実施 3) 振り返り  4. 医療安全トレーニング演習 1) 再発防止システム；根本原因分析（RCA） 2) 未然防止システム；失敗モード影響分析法（HFMEA）  5. 危険回避のための判断と行動をいつでもどこでもだれにでも適用 1) 看護の状況や場 2) 看護の対象				南雲 陽子 ※
学 習 方 法					
講義・グループワーク					
評 価 方 法					
科目修了試験					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
[教科書] 系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践 [2] 医療安全 川村治子 著 医学書院					